

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2017年11月14日〔当初、2019年11月22日〕まで (2009年11月24日設定)	
運用方針	ファミリーファンド方式により、新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	新興国高金利通貨オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 原則として、投資対象国通貨の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。 運用指図権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。 	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。 ソブリン債券以外への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の35%以内とします。 同一企業が発行する債券への実質投資は、取得時において、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ソブリン債券以外への投資は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の35%以内とします。 同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

〔繰上償還〕

新興国高金利通貨オープン （毎月決算型）

愛称：ファイブ



第92期（決算日：2017年7月24日）
第93期（決算日：2017年8月22日）
第94期（決算日：2017年9月22日）
第95期（決算日：2017年10月23日）
信託終了日：2017年11月14日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「新興国高金利通貨オープン（毎月決算型）」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、11月14日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近29期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 配	込 配 金	期 騰 落 率			
	円 銭		円	%	%	%	百万円
68期(2015年7月22日)	7,870		35	△ 1.7	93.5	—	9
69期(2015年8月24日)	6,900		35	△ 11.9	91.0	—	8
70期(2015年9月24日)	6,552		35	△ 4.5	94.3	—	7
71期(2015年10月22日)	6,855		35	5.2	96.3	—	7
72期(2015年11月24日)	7,017		35	2.9	96.5	—	8
73期(2015年12月22日)	6,547		35	△ 6.2	94.8	—	7
74期(2016年1月22日)	5,906		35	△ 9.3	95.0	—	7
75期(2016年2月22日)	5,929		35	1.0	95.4	—	7
76期(2016年3月22日)	6,306		35	6.9	96.0	—	7
77期(2016年4月22日)	6,344		35	1.2	96.6	—	7
78期(2016年5月23日)	6,117		35	△ 3.0	94.6	—	7
79期(2016年6月22日)	6,011		35	△ 1.2	95.8	—	7
80期(2016年7月22日)	6,102		35	2.1	96.1	—	7
81期(2016年8月22日)	5,994		35	△ 1.2	95.6	—	7
82期(2016年9月23日)	6,044		35	1.4	95.7	—	7
83期(2016年10月24日)	6,155		35	2.4	94.3	—	8
84期(2016年11月22日)	6,181		35	1.0	94.2	—	7
85期(2016年12月22日)	6,708		35	9.1	95.7	—	8
86期(2017年1月23日)	6,600		35	△ 1.1	95.5	—	7
87期(2017年2月22日)	6,757		35	2.9	95.2	—	8
88期(2017年3月22日)	6,697		35	△ 0.4	76.8	—	6
89期(2017年4月24日)	6,622		35	△ 0.6	94.7	—	6
90期(2017年5月22日)	6,596		35	0.1	92.9	—	6
91期(2017年6月22日)	6,557		35	△ 0.1	93.9	—	6
92期(2017年7月24日)	6,598		35	1.2	94.2	—	6
93期(2017年8月22日)	6,495		35	△ 1.0	95.8	—	6
94期(2017年9月22日)	6,711		35	3.9	92.8	—	7
95期(2017年10月23日)	6,682		35	0.1	94.5	—	6
(償還時)	(償還価額)						
96期(2017年11月14日)	6,462.86		—	△ 3.3	—	—	6

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第92期	(期 首) 2017年6月22日	円 銭 6,557		% —	% 93.9		% —
	6月末	6,630		1.1	93.8		—
	(期 末) 2017年7月24日	6,633		1.2	94.2		—
第93期	(期 首) 2017年7月24日	6,598		—	94.2		—
	7月末	6,522		△1.2	93.0		—
	(期 末) 2017年8月22日	6,530		△1.0	95.8		—
第94期	(期 首) 2017年8月22日	6,495		—	95.8		—
	8月末	6,621		1.9	96.4		—
	(期 末) 2017年9月22日	6,746		3.9	92.8		—
第95期	(期 首) 2017年9月22日	6,711		—	92.8		—
	9月末	6,653		△0.9	92.5		—
	(期 末) 2017年10月23日	6,717		0.1	94.5		—
第96期	(期 首) 2017年10月23日	6,682		—	94.5		—
	10月末	6,512		△2.5	94.6		—
	(償還時) 2017年11月14日	(償還価額) 6,462.86		△3.3	—		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

設定来の基準価額等の推移について

（第1期～第96期：2009/11/24～2017/11/14）

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ8.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第1期首： 10,000円
 第96期末： 6,462.86円
 （既払分配金 4,025円）
 騰落率： 8.0%
 （分配金再投資ベース）

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	保有銘柄の利息収入を得られたことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	新興国通貨が対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第1期～第96期：2009/11/24～2017/11/14）

◎新興国債券市況

現地通貨建て新興国債券市況は、相対的に高いインカム収入の獲得などから堅調となりました。

ブラジルは、政治的な不透明感が高まった局面などで金利が上昇する場面があったものの、2016年後半からブラジル中銀が政策金利の引き下げに転じたことを受けて、金利は低下基調に転じ、設定時に比べて金利は低下しました。一方トルコは、米国の量的金融緩和縮小などを背景に新興国に対する懸念が高まった場面などで金利が上昇する場面があったほか、2017年に入ってからインフレの高まりや地政学的なリスクに対する懸念などを背景に金利が上昇し、設定時と比較して金利は上昇しました。

◎新興国為替市況

新興国通貨は、設定時と比較して原油をはじめとする資源価格が下落したことや新興国からの資金流出や地政学的なリスクなどに対する懸念から、対円で軟調となりました。ブラジルレアルは資源価格の下落や政治的な不透明感への懸念を背景に設定時と比較すると対円で下落しました。ロシアルーブルも、ロシアの主要な輸出品目である原油等の資源価格が下落したことなどから対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<新興国高金利通貨オープン（毎月決算型）>

- ・当ファンドは、新興国高金利通貨オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象としており、実質的な運用はマザーファンドで行いました。
- ・信託期間を通して見ると、当ファンドの基準価額は設定時に比べ、8.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第1作成期（第1期：設定時～2009/12/22）>

基準価額は設定時に比べ0.2%の下落となりました。

<第2作成期（第2期～第7期：2009/12/23～2010/6/22）>

基準価額は当作成期首に比べ0.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第3作成期（第8期～第13期：2010/6/23～2010/12/22）>

基準価額は当作成期首に比べ1.7%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第4作成期（第14期～第19期：2010/12/23～2011/6/22）>

基準価額は当作成期首に比べ1.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第5作成期（第20期～第25期：2011/6/23～2011/12/22）>
基準価額は当作成期首に比べ15.4%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第6作成期（第26期～第31期：2011/12/23～2012/6/22）>
基準価額は当作成期首に比べ5.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第7作成期（第32期～第37期：2012/6/23～2012/12/25）>
基準価額は当作成期首に比べ10.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第8作成期（第38期～第43期：2012/12/26～2013/6/24）>
基準価額は当作成期首に比べ9.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第9作成期（第44期～第49期：2013/6/25～2013/12/24）>
基準価額は当作成期首に比べ6.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第10作成期（第50期～第55期：2013/12/25～2014/6/23）>
基準価額は当作成期首に比べほぼ横ばい（分配金再投資ベース）となりました。

<第11作成期（第56期～第61期：2014/6/24～2014/12/22）>
基準価額は当作成期首に比べ0.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第12作成期（第62期～第67期：2014/12/23～2015/6/22）>
基準価額は当作成期首に比べ0.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第13作成期（第68期～第73期：2015/6/23～2015/12/22）>
基準価額は当作成期首に比べ16.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第14作成期（第74期～第79期：2015/12/23～2016/6/22）>
基準価額は当作成期首に比べ5.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第15作成期（第80期～第85期：2016/6/23～2016/12/22）>
基準価額は当作成期首に比べ15.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第16作成期（第86期～第91期：2016/12/23～2017/6/22）>
基準価額は当作成期首に比べ0.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第17作成期（第92期～第96期：2017/6/23～信託終了日）>
償還価額は当作成期首に比べ0.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

なお、償還に向けて、マザーファンドの組入比率を0%に引き下げました。

<新興国高金利通貨オープン マザーファンド>

基準価額は設定時に比べ21.1%の上昇となりました。

- ・あらかじめ定めた新興国の投資対象国のうち、相対的に金利水準が高く、ファンダメンタルズや市場規模、流動性等を勘案し選定した新興国5通貨の現地通貨建ソブリン債券に概ね均等に投資を行いました。

<第1作成期（第1期：設定時～2009/12/22）>

基準価額は設定時に比べ0.2%の下落となりました。

- ・インカム収入を獲得したことがプラスに寄与したものの、為替市場の動向が基準価額にマイナスに作用しました。

<第2作成期（第2期～第7期：2009/12/23～2010/6/22）>

基準価額は当作成期首に比べ0.6%の上昇となりました。

- ・為替市場の動向がマイナスに作用したものの、インカム収入を獲得したことが基準価額にプラスに寄与しました。

<第3作成期（第8期～第13期：2010/6/23～2010/12/22）>

基準価額は当作成期首に比べ1.0%の下落となりました。

- ・インカム収入を獲得したことがプラスに寄与したものの、為替市場の動向が基準価額にマイナスに作用しました。

<第4作成期（第14期～第19期：2010/12/23～2011/6/22）>

基準価額は当作成期首に比べ2.6%の上昇となりました。

- ・為替市場の動向がマイナスに作用したものの、インカム収入を獲得したことが基準価額にプラスに寄与しました。

<第5作成期（第20期～第25期：2011/6/23～2011/12/22）>

基準価額は当作成期首に比べ14.9%の下落となりました。

- ・インカム収入を獲得したことがプラスに寄与したものの、為替市場の動向が基準価額にマイナスに作用しました。

<第6作成期（第26期～第31期：2011/12/23～2012/6/22）>

基準価額は当作成期首に比べ5.8%の上昇となりました。

- ・インカム収入を獲得したことや為替市場の動向が基準価額にプラスに寄与しました。

<第7作成期（第32期～第37期：2012/6/23～2012/12/25）>

基準価額は当作成期首に比べ11.8%の上昇となりました。

- ・インカム収入を獲得したことや為替市場の動向が基準価額にプラスに寄与しました。

<第8作成期（第38期～第43期：2012/12/26～2013/6/24）>

基準価額は当作成期首に比べ10.3%の上昇となりました。

- ・インカム収入を獲得したことや為替市場の動向が基準価額にプラスに寄与しました。

<第9作成期（第44期～第49期：2013/6/25～2013/12/24）>

基準価額は当作成期首に比べ7.7%の上昇となりました。

- ・インカム収入を獲得したことや為替市場の動向が基準価額にプラスに寄与しました。

<第10作成期（第50期～第55期：2013/12/25～2014/6/23）>

基準価額は当作成期首に比べ0.8%の上昇となりました。

- ・為替市場の動向がマイナスに作用したものの、インカム収入を獲得したことが基準価額にプラスに寄与しました。

<第11作成期（第56期～第61期：2014/6/24～2014/12/22）>

基準価額は当作成期首に比べ1.7%の上昇となりました。

- ・一部の投資国通貨の下落がマイナスに作用したものの、インカム収入を獲得したことが基準価額にプラスに寄与しました。

<第12作成期（第62期～第67期：2014/12/23～2015/6/22）>

基準価額は当作成期首に比べ0.5%の上昇となりました。

- ・為替市場の動向が基準価額にマイナスに作用したものの、インカム収入を獲得したことがプラスに寄与しました。

<第13作成期（第68期～第73期：2015/6/23～2015/12/22）>

基準価額は当作成期首に比べ15.6%の下落となりました。

- ・インカム収入を獲得したことがプラスに寄与したものの、為替市場の動向が基準価額にマイナスに作用しました。

<第14作成期（第74期～第79期：2015/12/23～2016/6/22）>

基準価額は当作成期首に比べ4.3%の下落となりました。

- ・インカム収入を獲得したことがプラスに寄与したものの、為替市場の動向が基準価額にマイナスに作用しました。

<第15作成期（第80期～第85期：2016/6/23～2016/12/22）>

基準価額は当作成期首に比べ16.5%の上昇となりました。

- ・インカム収入を獲得したことや為替市場の動向が基準価額にプラスに寄与しました。

<第16作成期（第86期～第91期：2016/12/23～2017/6/22）>

基準価額は当作成期首に比べ1.7%の上昇となりました。

- ・インカム収入を獲得したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

<第17作成期（第92期～第96期：2017/6/23～信託終了日）>

基準価額は当作成期首に比べ0.7%の上昇となりました。

- ・インカム収入を獲得したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勘案し、第2期から第25期までは各60円、第26期から第34期までは各50円、第35期から第95期までは各35円の分配とさせていただきます。なお、信託約款の規定に従い第1期の収益分配は行っていません。信託期間中、累計で4,025円の分配を行わせていただきました。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第92期	第93期	第94期	第95期
	2017年6月23日～ 2017年7月24日	2017年7月25日～ 2017年8月22日	2017年8月23日～ 2017年9月22日	2017年9月23日～ 2017年10月23日
当期分配金	35	35	35	35
（対基準価額比率）	0.528%	0.536%	0.519%	0.521%
当期の収益	35	26	35	26
当期の収益以外	—	8	—	8
翌期繰越分配対象額	807	799	930	924

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

償還価額

<新興国高金利通貨オープン（毎月決算型）>

償還価額は6,462円86銭となりました。

信託期間中はご愛顧賜り、誠にありがとうございました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年6月23日～2017年11月14日)

項 目	第92期～第96期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(19)	(0.285)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.303)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.039	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.037)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	43	0.645	
作成期中の平均基準価額は、6,587円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年6月23日～2017年11月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第92期～第96期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国高金利通貨オープン マザーファンド	千口 606	千円 710	千口 6,271	千円 7,294

○利害関係人との取引状況等

(2017年6月23日～2017年11月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年11月14日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	第91期末	
		口	数
新興国高金利通貨オープン	マザーファンド		千口 5,664

○投資信託財産の構成

(2017年11月14日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
コール・ローン等、その他		6,099	100.0
投資信託財産総額		6,099	100.0

○資産、負債、元本及び基準（償還）価額の状況

項 目	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	償 還 時
	2017年7月24日現在	2017年8月22日現在	2017年9月22日現在	2017年10月23日現在	2017年11月14日現在
	円	円	円	円	円
(A) 資産	6,676,900	6,745,534	7,071,462	6,311,946	6,099,454
コール・ローン等	74,967	74,572	114,786	69,703	6,099,454
新興国高金利通貨オープン マザーファンド(評価額)	6,565,951	6,634,713	6,955,083	6,208,317	—
未収入金	35,982	36,249	1,593	33,926	—
(B) 負債	43,950	44,081	46,504	41,068	5,624
未払収益分配金	35,187	36,112	36,635	32,848	—
未払解約金	—	—	1,017	—	—
未払信託報酬	8,736	7,944	8,825	8,195	5,596
未払利息	—	—	—	—	10
その他未払費用	27	25	27	25	18
(C) 純資産総額(A－B)	6,632,950	6,701,453	7,024,958	6,270,878	6,093,830
元本	10,053,640	10,317,856	10,467,270	9,385,156	9,429,003
次期繰越損益金	△ 3,420,690	△ 3,616,403	△ 3,442,312	△ 3,114,278	—
償還差損金	—	—	—	—	△ 3,335,173
(D) 受益権総口数	10,053,640口	10,317,856口	10,467,270口	9,385,156口	9,429,003口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,598円	6,495円	6,711円	6,682円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	—	—	6,462円86銭

○損益の状況

項 目	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2017年6月23日～ 2017年7月24日	2017年7月25日～ 2017年8月22日	2017年8月23日～ 2017年9月22日	2017年9月23日～ 2017年10月23日	2017年10月24日～ 2017年11月14日
	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	—	—	—	1	△ 57
受取利息	—	—	—	1	—
支払利息	—	—	—	—	△ 57
(B) 有価証券売買損益	81,878	△ 60,887	266,279	12,169	△ 200,322
売買益	84,895	—	270,838	22,901	237
売買損	△ 3,017	△ 60,887	△ 4,559	△ 10,732	△ 200,559
(C) 信託報酬等	△ 8,763	△ 7,969	△ 8,852	△ 8,220	△ 5,614
(D) 当期損益金 (A + B + C)	73,115	△ 68,856	257,427	3,950	△ 205,993
(E) 前期繰越損益金	△1,466,399	△1,428,471	△1,499,703	△1,115,762	△1,142,820
(F) 追加信託差損益金	△1,992,219	△2,082,964	△2,163,401	△1,969,618	△1,986,360
(配当等相当額)	(443,613)	(465,772)	(486,143)	(450,852)	(456,140)
(売買損益相当額)	(△2,435,832)	(△2,548,736)	(△2,649,544)	(△2,420,470)	(△2,442,500)
(G) 計 (D + E + F)	△3,385,503	△3,580,291	△3,405,677	△3,081,430	—
(H) 収益分配金	△ 35,187	△ 36,112	△ 36,635	△ 32,848	—
次期繰越損益金 (G + H)	△3,420,690	△3,616,403	△3,442,312	△3,114,278	—
償還差損金 (D + E + F + H)	—	—	—	—	△3,335,173
追加信託差損益金	△1,992,219	△2,082,964	△2,163,401	△1,969,618	—
(配当等相当額)	(444,438)	(466,356)	(490,447)	(451,422)	(—)
(売買損益相当額)	(△2,436,657)	(△2,549,320)	(△2,653,848)	(△2,421,040)	(—)
分配準備積立金	367,428	358,409	483,905	416,487	—
繰越損益金	△1,795,899	△1,891,848	△1,762,816	△1,561,147	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 9,994,691円
 作成期中追加設定元本額 1,220,533円
 作成期中一部解約元本額 1,786,221円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.646286円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,335,173円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2017年6月23日～ 2017年7月24日	2017年7月25日～ 2017年8月22日	2017年8月23日～ 2017年9月22日	2017年9月23日～ 2017年10月23日
費用控除後の配当等収益額	38,892円	27,093円	169,768円	24,862円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	444,438円	466,356円	490,447円	451,422円
分配準備積立金額	363,723円	367,428円	350,772円	424,473円
当ファンドの分配対象収益額	847,053円	860,877円	1,010,987円	900,757円
1万口当たり収益分配対象額	842円	834円	965円	959円
1万口当たり分配金額	35円	35円	35円	35円
収益分配金金額	35,187円	36,112円	36,635円	32,848円

④ 「新興国高金利通貨オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年1万分の30の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2009年11月24日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年11月14日		資産総額	6,099,454円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	5,624円
				純資産総額	6,093,830円
受益権口数	96,923,476口	9,429,003口	△87,494,473口	受益権口数	9,429,003口
元本額	96,923,476円	9,429,003円	△87,494,473円	1万円当たり償還金	6,462円86銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	173,120,580円	172,800,822円	9,982円	0円	0.00%
第2期	195,292,261	195,143,042	9,992	60	0.60
第3期	194,411,618	194,311,311	9,995	60	0.60
第4期	206,213,698	204,888,961	9,936	60	0.60
第5期	198,909,076	203,915,253	10,252	60	0.60
第6期	203,678,612	190,054,747	9,331	60	0.60
第7期	209,059,889	200,739,358	9,602	60	0.60
第8期	210,203,656	192,448,574	9,155	60	0.60
第9期	195,350,324	179,621,583	9,195	60	0.60
第10期	196,126,001	182,203,438	9,290	60	0.60
第11期	197,892,848	179,765,652	9,084	60	0.60
第12期	195,167,805	180,968,254	9,272	60	0.60
第13期	194,817,245	176,850,467	9,078	60	0.60
第14期	192,404,725	172,561,901	8,969	60	0.60
第15期	175,241,263	155,726,819	8,886	60	0.60
第16期	172,137,621	151,486,460	8,800	60	0.60
第17期	157,029,936	145,609,211	9,273	60	0.60
第18期	158,186,775	142,213,068	8,990	60	0.60
第19期	154,158,606	136,891,508	8,880	60	0.60
第20期	154,691,182	134,669,989	8,706	60	0.60
第21期	141,656,150	115,456,031	8,150	60	0.60
第22期	134,959,302	98,983,009	7,334	60	0.60
第23期	139,100,540	102,364,399	7,359	60	0.60
第24期	134,008,867	95,986,424	7,163	60	0.60
第25期	127,848,202	91,627,508	7,167	60	0.60
第26期	128,742,011	93,163,712	7,236	50	0.50
第27期	125,540,886	99,094,781	7,893	50	0.50
第28期	128,245,855	103,620,123	8,080	50	0.50
第29期	117,030,604	90,775,215	7,757	50	0.50
第30期	113,732,340	82,116,093	7,220	50	0.50
第31期	102,851,934	74,404,853	7,234	50	0.50

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第32期	102,563,787円	72,684,886円	7,087円	50円	0.50%
第33期	98,922,714	72,451,800	7,324	50	0.50
第34期	86,229,760	62,475,200	7,245	50	0.50
第35期	87,826,821	64,200,121	7,310	35	0.35
第36期	80,320,776	59,727,215	7,436	35	0.35
第37期	79,538,235	61,597,341	7,744	35	0.35
第38期	80,971,631	66,620,764	8,228	35	0.35
第39期	75,777,391	64,938,339	8,570	35	0.35
第40期	75,047,817	63,469,433	8,457	35	0.35
第41期	75,220,936	67,671,613	8,996	35	0.35
第42期	47,335,899	43,334,940	9,155	35	0.35
第43期	44,653,050	36,916,642	8,267	35	0.35
第44期	46,041,326	39,299,184	8,536	35	0.35
第45期	44,195,955	35,500,654	8,033	35	0.35
第46期	45,166,225	38,313,618	8,483	35	0.35
第47期	45,597,164	38,480,205	8,439	35	0.35
第48期	41,158,958	34,890,950	8,477	35	0.35
第49期	32,686,978	28,159,385	8,615	35	0.35
第50期	30,981,693	25,903,121	8,361	35	0.35
第51期	25,347,749	20,618,359	8,134	35	0.35
第52期	25,718,289	20,662,101	8,034	35	0.35
第53期	26,091,754	21,811,812	8,360	35	0.35
第54期	26,185,892	22,069,521	8,428	35	0.35
第55期	24,078,192	20,231,357	8,402	35	0.35
第56期	24,064,723	20,146,401	8,372	35	0.35
第57期	24,289,821	20,533,516	8,454	35	0.35
第58期	23,587,718	20,218,909	8,572	35	0.35
第59期	23,634,909	19,448,293	8,229	35	0.35
第60期	16,370,288	14,467,584	8,838	35	0.35
第61期	16,779,519	13,879,179	8,271	35	0.35
第62期	17,066,509	13,842,979	8,111	35	0.35
第63期	17,361,919	13,780,250	7,937	35	0.35
第64期	15,535,641	11,942,267	7,687	35	0.35
第65期	15,779,695	12,499,661	7,921	35	0.35
第66期	12,928,595	10,656,078	8,242	35	0.35
第67期	12,410,344	9,976,794	8,039	35	0.35
第68期	12,117,149	9,536,089	7,870	35	0.35
第69期	11,697,409	8,071,469	6,900	35	0.35
第70期	11,486,074	7,526,240	6,552	35	0.35
第71期	11,639,273	7,978,807	6,855	35	0.35

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第72期	11,776,088円	8,263,484円	7,017円	35円	0.35%
第73期	11,923,099	7,805,612	6,547	35	0.35
第74期	12,088,280	7,139,814	5,906	35	0.35
第75期	12,222,584	7,246,511	5,929	35	0.35
第76期	12,157,594	7,666,006	6,306	35	0.35
第77期	12,414,184	7,876,055	6,344	35	0.35
第78期	12,664,756	7,747,364	6,117	35	0.35
第79期	12,759,292	7,669,939	6,011	35	0.35
第80期	12,623,697	7,703,175	6,102	35	0.35
第81期	12,931,457	7,751,026	5,994	35	0.35
第82期	13,085,926	7,908,956	6,044	35	0.35
第83期	13,217,218	8,134,719	6,155	35	0.35
第84期	12,378,911	7,650,907	6,181	35	0.35
第85期	12,453,327	8,353,905	6,708	35	0.35
第86期	11,828,154	7,806,697	6,600	35	0.35
第87期	12,050,865	8,142,604	6,757	35	0.35
第88期	10,267,695	6,876,131	6,697	35	0.35
第89期	10,543,456	6,981,499	6,622	35	0.35
第90期	10,416,084	6,870,572	6,596	35	0.35
第91期	9,994,691	6,553,741	6,557	35	0.35
第92期	10,053,640	6,632,950	6,598	35	0.35
第93期	10,317,856	6,701,453	6,495	35	0.35
第94期	10,467,270	7,024,958	6,711	35	0.35
第95期	9,385,156	6,270,878	6,682	35	0.35

○分配金のお知らせ

	第92期	第93期	第94期	第95期
1万口当たり分配金（税込み）	35円	35円	35円	35円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	6,462円86銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

- ①2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。
- ②受益権の口数が投資信託約款に定められた口数を下回っており、投資信託契約を解約することが受益者にとって有利であると認められるため、投資信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。
(2017年11月14日)

新興国高金利通貨オープン マザーファンド

《第114期》決算日2017年7月24日 《第116期》決算日2017年9月22日

《第115期》決算日2017年8月22日 《第117期》決算日2017年10月23日

[計算期間：2017年6月23日～2017年10月23日]

「新興国高金利通貨オープン マザーファンド」は、10月23日に第117期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第114期～第117期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を中心に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	新興国のソブリン債券および準ソブリン債券
主 な 組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ・ ソブリン債券以外への投資は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の35%以内とします。 ・ 同一企業が発行する債券への投資は、取得時において、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。

○最近28期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰落	率			
	円		%	%	%	百万円
90期(2015年7月22日)	11,783	△ 1.6		94.5	—	1,808
91期(2015年8月24日)	10,383	△ 11.9		92.0	—	1,628
92期(2015年9月24日)	9,919	△ 4.5		95.3	—	1,530
93期(2015年10月22日)	10,447	5.3		97.3	—	1,575
94期(2015年11月24日)	10,765	3.0		97.5	—	1,587
95期(2015年12月22日)	10,102	△ 6.2		95.7	—	1,504
96期(2016年1月22日)	9,171	△ 9.2		96.0	—	1,375
97期(2016年2月22日)	9,273	1.1		96.4	—	1,353
98期(2016年3月22日)	9,936	7.1		97.0	—	1,386
99期(2016年4月22日)	10,066	1.3		97.5	—	1,349
100期(2016年5月23日)	9,771	△ 2.9		95.5	—	1,312
101期(2016年6月22日)	9,669	△ 1.0		96.8	—	1,277
102期(2016年7月22日)	9,885	2.2		97.1	—	1,276
103期(2016年8月22日)	9,778	△ 1.1		96.5	—	1,247
104期(2016年9月23日)	9,932	1.6		96.7	—	1,242
105期(2016年10月24日)	10,187	2.6		95.3	—	1,247
106期(2016年11月22日)	10,302	1.1		95.1	—	1,277
107期(2016年12月22日)	11,264	9.3		96.7	—	1,342
108期(2017年1月23日)	11,155	△ 1.0		96.5	—	1,305
109期(2017年2月22日)	11,497	3.1		96.2	—	1,305
110期(2017年3月22日)	11,467	△ 0.3		77.6	—	1,274
111期(2017年4月24日)	11,414	△ 0.5		95.7	—	1,251
112期(2017年5月22日)	11,445	0.3		93.8	—	1,254
113期(2017年6月22日)	11,453	0.1		94.8	—	1,239
114期(2017年7月24日)	11,601	1.3		95.1	—	1,246
115期(2017年8月22日)	11,495	△ 0.9		96.7	—	1,229
116期(2017年9月22日)	11,961	4.1		93.7	—	1,212
117期(2017年10月23日)	11,986	0.2		95.4	—	1,195

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第114期	(期 首) 2017年 6 月22日	円 11,453		% —	% 94.8	% —
	6 月末	11,586		1.2	94.8	—
	(期 末) 2017年 7 月24日	11,601		1.3	95.1	—
第115期	(期 首) 2017年 7 月24日	11,601		—	95.1	—
	7 月末	11,471		△1.1	94.0	—
	(期 末) 2017年 8 月22日	11,495		△0.9	96.7	—
第116期	(期 首) 2017年 8 月22日	11,495		—	96.7	—
	8 月末	11,726		2.0	97.5	—
	(期 末) 2017年 9 月22日	11,961		4.1	93.7	—
第117期	(期 首) 2017年 9 月22日	11,961		—	93.7	—
	9 月末	11,860		△0.8	93.5	—
	(期 末) 2017年10月23日	11,986		0.2	95.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

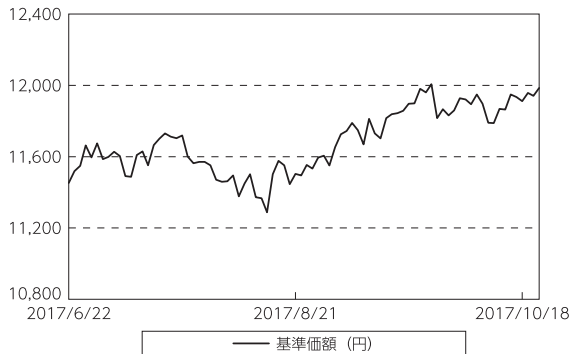
○運用経過

●当作成期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ4.7%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎新興国債券市況

- ・ブラジルでは、中央銀行が政策金利の引き下げを行ったことなどが影響し、金利は低下しました。また、ロシアでは、中央銀行が政策金利の引き下げを実施したことなどを背景に金利は低下しました。一方トルコでは、政治的な不透明感やインフレ率の上昇に対する懸念などを背景に金利は上昇しました。

◎新興国為替市況

- ・ロシア・ルーブルは、原油価格が堅調となったことを受けて対円で上昇しました。また、ブラジル・レアルは、ルラ元大統領に有罪判決が下され、2018年の大統領選挙への出馬の可能性が低下したとの見方が広がったことや上院で労働法の改革法案が成立したことを受けて、構造改革の進展への期待が高まったことなどから対円で上昇しました。一方、トルコリラは、米国とトルコが互いにビザ発給業務を停止したことを受けて、両国の関係悪化などが懸念され、トルコリラは対円で下落しました。
- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・あらかじめ定めた新興国の投資対象国のうち、相対的に金利水準が高く、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）や市場規模、流動性等を勘案し選定した新興国5通貨の現地通貨建ソブリン債券に概ね均等に投資を行いました。
 - ・国別資産配分については、当作成期首はロシア、ブラジル、南アフリカ、トルコ、アルゼンチンの現地通貨建国債を概ね均等に組み入れたポートフォリオとしました。その後、実施した定期的な投資国通貨の見直しでは、投資国通貨に変更を加えませんでした。
 - ・残存期間については、各投資国の残存期間3年以内の国債への投資を行いました。
 - ・外貨の組入比率を高位水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。
 - ・前記のような運用の結果、トルコ・リラが対円で下落したことが基準価額の下落要因となったものの、インカム収入を獲得したこと、ブラジル・レアルやロシア・ルーブルなどが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・ 経常収支が改善傾向にあることなどを背景に、多くの新興国のファンダメンタルズは良好とみえています。
- ・ 新興国債券市場については、主要先進国に比べて相対的に金利水準が高いことがサポート要因であることに加え、通貨の安定に伴いインフレ率が低下すれば、中央銀行による政策金利の引き下げ余地が生み出されることで、同市場はポジティブな影響を受けると考えます。為替市場については、経常収支や対内直接投資の改善が通貨に対する下落圧力を軽減するものとみています。ただし、先進国の金融政策や米国の通商政策の動向、中国経済の動向などには引き続き注意が必要です。

◎今後の運用方針

- ・ 国別資産配分では、原則として、新興国の中から相対的に金利の高い5通貨を選定し、現地通貨建の債券に均等に投資します。投資国通貨の選定においては、各国のファンダメンタルズや市場規模、流動性等も考慮します（選定通貨の見直しは定期的に行いますが、必要と判断した場合は別のタイミングで一部の通貨を入れ替えることがあります。入れ替えの途中などでは一時的に投資国通貨が5通貨とならないことがあります。）。
- ・ 残存期間が3年を超える債券には、原則として投資しないものとします。
- ・ 外貨の組入比率を高水準に維持し、外貨建資産については対円での為替ヘッジは原則として行わない方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2017年6月23日～2017年10月23日)

項 目	第114期～第117期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保 管 費 用)	4	0.037	
(そ の 他)	(4)	(0.036)	
(合 計)	(0)	(0.001)	
合 計	4	0.037	
作成期中の平均基準価額は、11,660円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○第114期中の売買及び取引の状況

(2017年6月23日～2017年7月24日)

該当事項はございません。

○第115期中の売買及び取引の状況

(2017年7月25日～2017年8月22日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アルゼンチン	国債証券	千アルゼンチンペソ	千アルゼンチンペソ
			1,975	960
	ブラジル	国債証券	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル
			—	175
	ロシア	国債証券	千ロシアルーブル	千ロシアルーブル
			9,908	—

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○第116期中の売買及び取引の状況

(2017年8月23日～2017年9月22日)

公社債

			買付額	売付額
外	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル —	千ブラジルリアル 575
	トルコ	国債証券	千トルコリラ —	千トルコリラ 430
国	ロシア	国債証券	千ロシアルーブル —	千ロシアルーブル 12,258
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 3,333	千南アフリカランド 1,566 (3,385)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○第117期中の売買及び取引の状況

(2017年9月23日～2017年10月23日)

公社債

			買付額	売付額
外国	アルゼンチン	国債証券	千アルゼンチンペソ 920	千アルゼンチンペソ —

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2017年6月23日～2017年10月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年10月23日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第117期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アルゼンチン	千アルゼンチンペソ 34,950	千アルゼンチンペソ 35,939	千円 234,687	% 19.6	% 19.6	% —	% —	% 19.6
ブラジル	千ブラジルレアル 7,182	千ブラジルレアル 6,583	234,772	19.6	19.6	—	1.8	17.8
トルコ	千トルコリラ 7,185	千トルコリラ 6,990	216,011	18.1	18.1	—	6.4	11.6
ロシア	千ロシアルーブル 118,410	千ロシアルーブル 117,364	231,208	19.3	—	—	1.1	18.3
南アフリカ	千南アフリカランド 26,805	千南アフリカランド 26,949	224,222	18.8	—	—	5.4	13.3
合 計	—	—	1,140,901	95.4	57.3	—	14.8	80.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	利 率	額面金額	第117期末		償還年月日
			評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
アルゼンチン	%	千アルゼンチンペソ	千アルゼンチンペソ	千円	
国債証券	21.2	26,775	27,499	179,570	2018/9/19
	22.75	8,175	8,440	55,117	2018/3/5
小 計				234,687	
ブラジル		千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
国債証券	10.0	220	228	8,137	2018/1/1
	—	6,236	5,743	204,824	2019/1/1
	—	726	611	21,810	2020/1/1
小 計				234,772	
トルコ		千トルコリラ	千トルコリラ		
国債証券	10.5	2,550	2,492	77,029	2020/1/15
	6.3	735	723	22,353	2018/2/14
	8.5	525	498	15,416	2019/7/10
	8.8	3,375	3,275	101,211	2018/11/14
小 計				216,011	
ロシア		千ロシアルーブル	千ロシアルーブル		
国債証券	6.4	6,600	6,474	12,755	2020/5/27
	6.7	111,810	110,889	218,452	2019/5/15
小 計				231,208	
南アフリカ		千南アフリカランド	千南アフリカランド		
国債証券	7.25	7,820	7,791	64,821	2020/1/15
	8.0	18,985	19,158	159,400	2018/12/21
小 計				224,222	
合 計				1,140,901	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年10月23日現在)

項 目	第117期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,140,901	% 95.4
コール・ローン等、その他	54,841	4.6
投資信託財産総額	1,195,742	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産 (1,181,013千円) の投資信託財産総額 (1,195,742千円) に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.89円	1 アルゼンチンペソ=6.53円	1 ブラジルレアル=35.66円	1 トルコリラ=30.90円
1 ロシアルーブル=1.97円	1 南アフリカランド=8.32円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末
	2017年7月24日現在	2017年8月22日現在	2017年9月22日現在	2017年10月23日現在
	円	円	円	円
(A) 資産	1,247,061,949	1,255,540,627	1,213,209,952	1,197,910,530
コール・ローン等	52,412,470	35,261,894	55,484,009	35,658,813
公社債(評価額)	1,185,925,225	1,189,131,373	1,136,944,513	1,140,901,984
未収入金	494,449	19,551,936	5,921,911	2,175,733
未収利息	8,229,805	11,355,534	14,318,953	18,636,764
前払費用	—	239,890	540,566	537,236
(B) 負債	531,838	26,043,313	430,755	2,264,565
未払金	495,832	25,978,554	429,139	2,168,148
未払解約金	35,982	64,728	1,593	96,395
未払利息	24	31	23	22
(C) 純資産総額(A-B)	1,246,530,111	1,229,497,314	1,212,779,197	1,195,645,965
元本	1,074,546,084	1,069,551,383	1,013,933,560	997,514,102
次期繰越損益金	171,984,027	159,945,931	198,845,637	198,131,863
(D) 受益権総口数	1,074,546,084口	1,069,551,383口	1,013,933,560口	997,514,102口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,601円	11,495円	11,961円	11,986円

○損益の状況

項 目	第114期	第115期	第116期	第117期
	2017年6月23日～ 2017年7月24日	2017年7月25日～ 2017年8月22日	2017年8月23日～ 2017年9月22日	2017年9月23日～ 2017年10月23日
	円	円	円	円
(A) 配当等収益	8,323,523	6,523,856	30,737,209	6,398,171
受取利息	8,324,294	6,524,487	30,738,226	6,398,654
支払利息	△ 771	△ 631	△ 1,017	△ 483
(B) 有価証券売買損益	7,990,651	△ 17,712,638	17,413,463	△ 3,884,637
売買益	27,337,241	5,089,321	41,340,653	11,943,991
売買損	△ 19,346,590	△ 22,801,959	△ 23,927,190	△ 15,828,628
(C) 保管費用等	△ 115,629	△ 138,233	△ 109,490	△ 94,529
(D) 当期損益金(A+B+C)	16,198,545	△ 11,327,015	48,041,182	2,419,005
(E) 前期繰越損益金	157,317,823	171,984,027	159,945,931	198,845,637
(F) 追加信託差損益金	3,338,232	4,414,785	1,911,785	2,529,418
(G) 解約差損益金	△ 4,870,573	△ 5,125,866	△ 11,053,261	△ 5,662,197
(H) 計(D+E+F+G)	171,984,027	159,945,931	198,845,637	198,131,863
次期繰越損益金(H)	171,984,027	159,945,931	198,845,637	198,131,863

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①第114期首元本額 1,082,528,775円
 第114期中追加設定元本額 21,542,556円
 第114期中一部解約元本額 29,525,247円
 また、1口当たり純資産額は、第114期末1.1601円です。
- ②第115期首元本額 1,074,546,084円
 第115期中追加設定元本額 29,238,159円
 第115期中一部解約元本額 34,232,860円
 また、1口当たり純資産額は、第115期末1.1495円です。
- ③第116期首元本額 1,069,551,383円
 第116期中追加設定元本額 10,208,790円
 第116期中一部解約元本額 65,826,613円
 また、1口当たり純資産額は、第116期末1.1961円です。
- ④第117期首元本額 1,013,933,560円
 第117期中追加設定元本額 13,580,973円
 第117期中一部解約元本額 30,000,431円
 また、1口当たり純資産額は、第117期末1.1986円です。
- ⑤作成期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
- | | |
|-----------------------|--------------|
| グローバル高金利通貨オープン（毎月決算型） | 973,673,965円 |
| グローバル高金利通貨オープン（1年決算型） | 18,660,496円 |
| 新興国高金利通貨オープン（毎月決算型） | 5,179,641円 |
| 合計 | 997,514,102円 |